

令和二年度佛教大学法然仏教学研究センター活動報告

第一部門 法然文献班 元亨版『和語燈録』本文・現代語訳対照本作成

班長 角 野 玄 樹

研究組織および専門分野

| | |
|-------|--|
| 本庄 良文 | 仏教学部教授（浄土学・仏教学） |
| 伊藤 真宏 | 仏教学部教授（浄土学・日本仏教文化史） |
| 市川 定敬 | 仏教学部准教授（法然浄土仏教思想研究） |
| 坪井 剛 | 仏教学部准教授（日本中世仏教史） |
| 角野 玄樹 | 佛教大学大学院文学研究科浄土学専攻博士後期課程修了 （法然文献研究・法然思想研究） |
| 齋藤 蒙光 | 東海学園大学人文学部准教授（法然浄土教） |
| 下端 啓介 | 佛教大学大学院文学研究科仏教学専攻博士後期課程在学中 （法然及び源信の思想） |
| 大久保慶子 | 佛教大学大学院文学研究科仏教学専攻博士後期課程在学中（中世仏教説話） |

令和2年度の研究

本紀要創刊号所載の活動報告において示したように、当班は、元亨版『和語燈録』の本文・現代語訳註本を完成させる目的で研究活動を行っている。また、当班は、故岸一英教授の追悼出版の後方支援するためのものであり、その基となるものが、佛教大学四条センターで行われた『和語燈録』の連続講義の担当者（岸一英氏、藤堂俊英氏、眞柄和人氏、本庄良文氏、安達俊英氏、善裕昭氏、伊藤真宏氏、角野）が作成した現代語訳や資料である。

昨年度の令和元年12月から引き続き、上記『和語燈録』連続講義の担当者の角野が作成した現代語訳を検討して、令和2年2月に一応終えた。これで、『和語燈録』連続講義の担当者作成の現代語訳の検討は、講座担当者や当班員によって、ひととおり一応終了した。

今後は、現代語訳や本文・註などの内容を、更に重ねて修正作業をする予定であった。しかし、新型コロナウイルス感染拡大の影響で、研究会の開催を先送りしている。その間、資料のデータ内容の修正・調整を行い、研究会開催の時機をはかっている。

研究会の開催（2020年1月～12月）

日 時 令和2年1月8日（水）10：45～12：10

場 所 8号館伊藤真宏研究室

参加者 班員5名

内 容 角野担当訳の検討（「ある人のもとへつかはす御消息」の「一、いかさまにも候へ」から末尾まで、及び「熊谷の入道へつかはす御返事」の冒頭から「御らん候べし。」まで。 ※齋藤蒙光氏作成の訳などの修正案の資料を、当研究会で活用した。）

日 時 令和2年1月15日（水）10：45～12：10

場 所 8号館伊藤真宏研究室

参加者 班員5名

内 容 角野担当訳の検討（「熊谷の入道へつかはす御返事」の冒頭から「一定にて候へと申候に候。」まで。 ※齋藤蒙光氏作成の訳などの修正案の資料を、当研究会で活用した。）

日 時 令和2年1月22日（水）10：45～12：05

場 所 8号館伊藤真宏研究室

参加者 班員5名

内 容 角野担当訳の検討（「熊谷の入道へつかはす御返事」の「又女犯と候は」から末尾まで、及び「ある時の御返事」の冒頭から「返々申ばかりなく候。」まで。 ※齋藤蒙光氏作成の訳などの修正案の資料を、当研究会で活用した。）

日 時 令和2年2月5日（水）13：00～14：10

場 所 8号館伊藤真宏研究室

参加者 班員3名

内 容 角野担当訳の検討（「ある時の御返事」の「ただしなに事につけても」から末尾まで。 ※齋藤蒙光氏作成の訳などの修正案の資料を、当研究会で活用した。）

第一部門 法然文献班
桑門秀我『選擇本願念佛集講義』現代語訳

班長 本庄良文

研究組織および専門分野

本庄良文 仏教学部教授（浄土学・仏教学）

上野忠昭 浄土宗 浄願寺副住職（中国仏教・法然浄土教）

2020年度の研究概要

1月から3月までは桑門秀我著『選擇本願念佛集講義』前篇（巻上・巻中）の出版に専念した。

4月から12月までは同後篇（巻下本・巻下末）の準備稿を完成させた上で、院生の協力を得ながらその整備を行った。担当部分は、上野が第8～12章、本庄が第13～16章である。

以上の作業については、研究会の開催等を行わず、ファイルの交換やメール等での意見交換によっている。

第一部門 『逆修説法』 班 『逆修説法』 諸本対照本作成、古本『漢語燈録』を中心とする本文批判

班長 眞 柄 和 人

研究組織および専門分野

| | |
|-------|-----------------------------------|
| 眞柄 和人 | 知恩院浄土宗学研究所嘱託研究員（法然仏教伝承過程） |
| 齋藤 蒙光 | 東海学園大学人文学部准教授（法然浄土教） |
| 吉原 寛樹 | 佛教大学大学院文学研究科浄土学専攻修士課程修了（『逆修説法』研究） |
| 岩谷 隆法 | 佛教大学大学院文学研究科浄土学専攻博士後期課程満期退学（法然文献） |
| 一ノ瀬和夫 | 佛教大学大学院文学研究科仏教学専攻博士後期課程在学中 |

令和2年度の研究

善照寺本『古本漢語燈録』巻七・巻八を基礎資料として、他の諸本の本文を参照、比較対照しながら、『逆修説法』の訓読・現代語訳・注記を完成させる作業を行っている。平成28年度の研究会で下訳が完成しており、成果報告にむけて下記の通り見直し修正作業を進めている。

研究会の開催（令和2年1月から12月）

第86回研究会報告

| | |
|-----|------------------------------------|
| 日 時 | 1月27日（月）12：30～14：00 |
| 場 所 | 15号館2階 研究室 |
| 参加者 | 眞柄、齋藤、岩谷、一ノ瀬 |
| 内 容 | 齋藤蒙光担当『写本集成』P258L4～P261L1の見直し修正作業。 |

第87回研究会報告

| | |
|-----|-------------------------------------|
| 日 時 | 2月14日（金）13：00～14：30 |
| 場 所 | 8号館1階 文学部資料室3 |
| 参加者 | 眞柄、齋藤、吉原、岩谷、一ノ瀬 |
| 内 容 | 齋藤蒙光担当『写本集成』P261L1～P263L10の見直し修正作業。 |

第88回研究会報告

| | |
|-----|---------------------|
| 日 時 | 7月31日（金）13：00～15：00 |
| 場 所 | 15号館3階第6会議室 |

参加者 眞柄、齋藤、吉原、岩谷

内 容 岩谷隆法担当『写本集成』P264L1～P266L4の見直し修正作業。

第89回研究会報告

日 時 9月4日（金）13：00～15：00

場 所 Google Meet でのリモート研究会

参加者 眞柄、齋藤、岩谷

内 容 岩谷隆法担当『写本集成』P266L4～P268L9の見直し修正作業。

第90回研究会報告

日 時 9月25日（金）13：00～15：30

場 所 Google Meet でのリモート研究会

参加者 眞柄、齋藤、吉原、岩谷、一ノ瀬

内 容 岩谷隆法、吉原寛樹担当『写本集成』P268L9～P270L9の見直し修正作業。

第91回研究会報告

日 時 10月9日（金）13：00～15：00

場 所 Google Meet でのリモート研究会

参加者 眞柄、齋藤、吉原、岩谷、一ノ瀬

内 容 吉原寛樹担当『写本集成』P270L9～P272L4の見直し修正作業。

第92回研究会報告

日 時 10月23日（金）13：00～15：00

場 所 Google Meet でのリモート研究会

参加者 眞柄、吉原、岩谷、一ノ瀬

内 容 吉原寛樹担当『写本集成』P272L4～P274L2の見直し修正作業。

第93回研究会報告

日 時 11月13日（金）13：00～15：00

場 所 Google Meet でのリモート研究会

参加者 眞柄、齋藤、吉原、岩谷、一ノ瀬

内 容 吉原寛樹、齋藤蒙光担当『写本集成』P274L2～P275L6の見直し修正作業。

第一部門 『選択集』 諸本研究班 信重院蔵 『選択集』 諸本等の調査および研究

班長 兼 岩 和 広

・研究組織および専門分野（研究構成員各々の氏名と専門分野）

- 兼岩 和広 浄土宗轉法輪寺住職（法然浄土教・『選擇集』）
伊藤 眞宏 仏教学部（浄土学・法然浄土教）
服部 純啓 佛教大学大学院博士後期課程（珍海の浄土教思想、法然と周縁思想家の研究）
小川 法道 佛教大学大学院博士後期課程（浄土教思想）
明石 寛成 佛教大学大学院博士後期課程（浄土学・江戸期浄土教）
下端 啓介 佛教大学大学院博士後期課程（浄土学・『往生要集』）
高城 聡宏 佛教大学大学院博士後期課程（浄土学・西山教学・「當麻曼荼羅」）

・2020年度の研究（2020年度の研究概要）

京都信重院所蔵『選擇集』のデータ化や目録の作成はほぼ完成し、次の段階として、大学図書館等に所蔵される他の『選択集』を調査することを今年度の課題としてきた。

まずは佛教大学図書館に収蔵されている『選択集』を調査する作業を行い、約140種に及ぶ収蔵本すべてを調査する作業を行った。結果、信重院所蔵本と合わせることで、『選択集』諸版本の系統分けをすることが出来た。

次の作業としては、他大学図書館での調査を計画しているが、コロナ禍によって実施困難な状況が続いているため、今年度の調査並びに研究はストップしたままである。

・研究会の開催等（対象期間：2020年1月～12月）

◎第8回研究会

日時：2月6日（木）

場所：佛教大学8号館、浄土学研究室

参加者：兼岩、小川、明石、高城、下端、服部

活動内容：第一章の諸本比較

◎調査

日時：3月23日（月）～25日（水）

場所：佛教大学図書館

令和二年度佛教大学法然仏教学研究センター活動報告

参加者：兼岩、小川、明石、高城、下端、服部

活動内容：収蔵『選択集』の全てを閲覧、調査

第二部門 『摧邪輪』 班 明恵 『摧邪輪』 寛永版訓読・現代語訳

班長 米 澤 実江子

研究組織および専門分野

- 中御門敬教 知恩院浄土宗学研究所研究員（インド・チベット浄土教／顕密の浄土教）
服部 純啓 佛教大学大学院文学研究科仏教学専攻博士後期課程在学中
（珍海浄土教／法然浄土教と周縁思想家）
米澤実江子 佛教大学大学院文学研究科浄土学専攻博士後期課程修了（日本仏教〔中世〕）

2020年度研究概要

『摧邪輪』には数本の写刊本が存在し、既に寛永年間版本を底本とした、書き下し（全）・校補注（全）・現代語（巻上）が公にされている。

当班では、平成25年より寛永年間版本巻中からの書き下し・註・訳の確認作業を始め、平成26年9月以降、研究会を開催せず米澤が作業を継続し、平成30年1月から、本庄良文先生のご指示により、「巻中」、訓・註・現代語訳の再検討を行っている。

研究進捗報告

2019年度

1月～3月：「巻中」、訓・註・現代語訳の再検討。

2020年度

4月～7月：『佛教大学法然仏教学研究センター紀要』第7号掲載原稿作成。

10月：「巻中」、訓・註・現代語訳の再検討。

11月：「巻中」、訓・註・現代語訳の再検討。

12月：「巻中」、訓・註・現代語訳の再検討。

以上（文責：米澤実江子）

第二部門 『往生要集鈔』 関係班
『往生要集鈔』 『往生要集義記』 諸本対照・訓読・現代語訳

班長 南 宏 信

研究組織および専門分野

本庄 良文 研究員（浄土学・仏教学）

南 宏信 研究員（仏教文献学〔浄土学〕）

令和元年／令和2年度の研究

・『往生要集義記』 訓読・現代語訳

適宜作業中である。

・『往生要集鈔』 諸本の翻刻

前年度に続き、引用典籍を確認中である。

研究会の開催等（令和元年1月～令和2年12月）

班別研究会は開催していない。

第二部門 中国関係班 道綽『安楽集』解説・現代語訳・文献批判

班長 齊藤隆信

研究組織および専門分野

- 齊藤隆信 研究員（浄土教思想、中国仏教）
曾和義宏 研究員（浄土学、中国浄土教理史）
加藤弘孝 嘱託研究員（中国仏教、浄土教思想）
永田真隆 嘱託研究員（往生伝研究）
小川法道 学術研究員（浄土教思想）

令和2（2020）年度の研究

今年度は新型コロナウイルス感染症の広がりにより、4月から6月までの研究会をすべて中止とし、7月以後は本学の感染拡大予防マニュアルに沿って再開した。

毎回の研究会では『安楽集』の訳註を作成している。同書の訳註はこれまでも数回報告されているが、今回改めて訳註班を立ちあげたのは、宗典研究にありがちな依義判文や望文生義への反省がこめられている。ただし、これらをすべて否定し排除するのではないが、『安楽集』をいったん漢籍として、その語彙語法に注意を払いながら、一字一句ゆるがせにせず精読することにつとめている。その成果として第三大門の訳註を『法然仏教学研究センター紀要』第6号（2020年3月）に掲載した。

研究会の開催等（令和2年1月～12月）

【令和元年度】

第13回（通算108回）研究会

日時：1月14日（火） 13：00-14：30

内容：又彼経云人生世間～終不得止

第14回（通算109回）研究会

日時：1月24日（火） 14：30-16：00

内容：第三大門の見直し

第15回（通算110回）研究会

日時：2月18日（火） 13：00-14：40

内容：自此已下又引大経偈～是故至心願生彼

【令和2年度】

第1回（通算111回）研究会

日 時：7月7日（火） 14：00-16：00

内 容：第四大門の見直し

第2回（通算112回）研究会

日 時：7月21日（火） 14：00-17：00

内 容：第五大門、第六大門の見直し

第3回（通算113回）研究会

日 時：10月13日（火） 13：00-14：50

内 容：第十大門

第4回（通算114回）研究会

日 時：10月27日（火） 13：00-14：50

内 容：第十一大門「第十一大門略作……出生死故也」

第5回（通算115回）研究会

日 時：12月1日（火） 13：00-14：30

内 容：第十一大門「又勸雖与衆生……不干死王也」

第三部門 伝宗伝戒班

『真葛伝語』 諸本蒐集および教理的根拠の探索

班長 眞 柄 和 人

研究組織および専門分野

- 眞柄 和人 知恩院浄土宗学研究所嘱託研究員（浄土仏教学）
高津 晴生 佛教大学大学院文学研究科浄土学専攻博士後期課程満期退学（浄土宗における戒）
武田 真享 佛教大学大学院文学研究科浄土学専攻博士後期課程満期退学（日本浄土教）

令和2年度の研究

- 浄土宗傳法関係書『真葛伝語』の出版。
研究員の個別の関心に応じて、七祖聖問の思想や菩薩戒の研究も進めている。

研究会の開催（令和2年1月～12月）

- ・令和2年3月1日に『真葛伝語』を刊行。
- ・現在、研究会は中止し、各自で研究を進めている。

眞柄

- （1）佛大図書館蔵の浄土宗傳法傳書の各種比較研究。
- （2）現在進行中は、傳書『五重始末』の分析。

高津

全長『顕浄土伝戒論私記』の本文入力と現代語訳を作成中。

武田

現在、研究は休止。

第三部門 伝宗伝戒班
聖問撰『決疑鈔直牒』身延文庫本の研究

班長 南 宏 信

研究組織および専門分野

南 宏信 研究員（仏教文献学〔浄土学〕）

令和元年／令和2年度の研究

・身延文庫本の翻刻

諸般の事情で遅延しているが、前年度に引き続き翻刻作業を継続中である。

研究会の開催等（令和元年1月～令和2年12月）

班別研究会は開催していない。

法然仏教学研究センター組織

| | | | | |
|------------|---------|-------|-------|-------|
| センター長 | 本庄 良文 | | | |
| 研究推進機構会議委員 | 原 清治* | 作田誠一郎 | 細田 典明 | 坂井 健 |
| | 水田 大紀 | 荒井真太郎 | 村瀬 敬子 | 田中 智子 |
| | 利木佐起子 | 中嶋 力都 | 森 智女 | 長谷川順子 |
| | 大西 伸江** | | | |
| 運営会議構成員 | 本庄 良文* | 伊藤 真宏 | 曾和 義宏 | 市川 定敬 |
| | 坪井 剛 | 南 宏信 | 田井 陽子 | |
| | 長谷川順子** | | | |
| 職員 | 田井 陽子 | | | |

(*は委員長、**はオブザーバー)

研究組織

■「法然仏教の多角的研究」

| | | | |
|-------|-------|-------|-------|
| 研究員 | 本庄 良文 | 嘱託研究員 | 永田 真隆 |
| 研究員 | 齊藤 隆信 | 嘱託研究員 | 吉原 寛樹 |
| 研究員 | 伊藤 真宏 | 嘱託研究員 | 高津 晴生 |
| 研究員 | 曾和 義宏 | 嘱託研究員 | 岩谷 隆法 |
| 研究員 | 市川 定敬 | 嘱託研究員 | 武田 真享 |
| 研究員 | 坪井 剛 | 嘱託研究員 | 兼岩 和広 |
| 研究員 | 南 宏信 | 学術研究員 | 服部 純啓 |
| 嘱託研究員 | 眞柄 和人 | 学術研究員 | 小川 法道 |
| 嘱託研究員 | 上野 忠昭 | 学術研究員 | 明石 寛成 |
| 嘱託研究員 | 中御門敬教 | 学術研究員 | 一ノ瀬和夫 |
| 嘱託研究員 | 米澤実江子 | 学術研究員 | 下端 啓介 |
| 嘱託研究員 | 角野 玄樹 | 学術研究員 | 高城 聡宏 |
| 嘱託研究員 | 齋藤 蒙光 | 学術研究員 | 大久保慶子 |
| 嘱託研究員 | 加藤 弘孝 | | |

活動記録（2020年1月～12月）

令和2年（2020年）

- 1月8日(水) 第14回研究推進機構会議
研究会（第一部門 法然文献班 『和語燈録』）
- 14日(火) 研究会（第二部門 中国関係班 『安楽集』）
- 15日(水) 研究会（第一部門 法然文献班 『和語燈録』）
- 20日(月) 第7回法然仏教学研究センター研究会（法然仏教の多角的研究）
- 21日(火) 第8回法然仏教学研究センター運営会議
- 22日(水) 研究会（第一部門 法然文献班 『和語燈録』）
- 24日(金) 研究会（第二部門 中国関係班 『安楽集』）
- 27日(月) 研究会（第一部門 逆修説法班 『逆修説法』）
- 29日(水) 第15回研究推進機構会議
- 2月5日(水) 研究会（第一部門 法然文献班 『和語燈録』）
- 6日(木) 研究会（第一部門 『選択集』 諸本研究班 『選択集』）
- 12日(水) 第16回研究推進機構会議
- 14日(金) 研究会（第一部門 逆修説法班 『逆修説法』）
- 18日(火) 研究会（第二部門 中国関係班 『安楽集』）
- 26日(水) 第17回研究推進機構会議
- 3月11日(水) 第18回研究推進機構会議
- 23日(月) 研究会（第一部門 『選択集』 諸本研究班 『選択集』）
- 24日(火) 研究会（第一部門 『選択集』 諸本研究班 『選択集』）
- 4月8日(水) 第1回法然仏教学研究センター運営会議
- 15日(水) 第1回研究推進機構会議
- 29日(水) 第2回研究推進機構会議（googlemeet 使用）
- 5月19日(火) 第2回法然仏教学研究センター運営会議（mail 形式）
- 20日(水) 第3回研究推進機構会議（googlemeet 使用）
- 26日(火) 第3回法然仏教学研究センター運営会議（googlemeet 使用）
- 6月3日(水) 第4回研究推進機構会議（googlemeet 使用）
- 17日(水) 第5回研究推進機構会議（googlemeet 使用）
- 7月7日(火) 研究会（第二部門 中国関係班 『安楽集』）
- 8日(水) 第6回研究推進機構会議

令和二年度佛教大学法然仏教学研究センター活動報告

- 14日(火) 第4回法然仏教学研究センター運営会議
21日(火) 研究会(第二部門 中国関係班 『安楽集』)
22日(水) 第7回研究推進機構会議
31日(金) 研究会(第一部門 逆修説法班 『逆修説法』)
9月4日(金) 研究会(第一部門 逆修説法班 『逆修説法』)
9日(水) 第8回研究推進機構会議
15日(火) 第6回法然仏教学研究センター運営会議
25日(金) 研究会(第一部門 逆修説法班 『逆修説法』)
10月9日(金) 研究会(第一部門 逆修説法班 『逆修説法』)
13日(火) 研究会(第二部門 中国関係班 『安楽集』)
14日(水) 第9回研究推進機構会議
20日(火) 第7回法然仏教学研究センター運営会議
21日(水) 第10回研究推進機構会議
23日(金) 研究会(第一部門 逆修説法班 『逆修説法』)
27日(火) 研究会(第二部門 中国関係班 『安楽集』)
11月10日(火) 第8回法然仏教学研究センター運営会議
11日(水) 第11回研究推進機構会議
13日(金) 研究会(第一部門 逆修説法班 『逆修説法』)
12月1日(火) 研究会(第二部門 中国関係班 『安楽集』)
9日(水) 第12回研究推進機構会議
22日(火) 第9回法然仏教学研究センター運営会議